

# 北朝鮮の核実験を 厳しく糾弾する



危機打開のため直接対話が  
いよいよ緊急・切実な課題に

## 共産党・志位委員長が談話

日本共産党の志位和夫委員長は9月3日、北朝鮮が同日、核実験を強行したことについて、次の談話を発表しました。

一、北朝鮮は本日、昨年9月に続く6回目の核実験を強行した。北朝鮮は、「ICBM（大陸間弾道ミサイル）搭載の水素爆弾の実験を成功させた」と主張している。

北朝鮮の核実験は、今年だけでも13回行った弾道ミサイル発射とともに、世界と地域の平和と安定にとっての重大な脅威であり、累次の国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙である。それは、国際社会が追求している「対話による解決」に逆行する行為であり、核兵器禁止条約の採択など「核兵器のない世界」を求める世界の大勢に逆らうものである。

日本共産党は、強い憤りをもって、この暴挙を糾弾し、抗議する。

一、いまの最大の危険は、米朝両国の軍事的緊張がエスカレートするもとの、当事者たちの意図にも反して、偶発的な事態や誤算などによって軍事衝突が引き起こされる現実の可能性が生まれ、強まっているということである。万が一にもそうした事態が引き起こされるならば、その被害は日本にも深刻な形で及ぶことになる。おびただし

い犠牲をもたらす軍事衝突は、絶対に回避しなければならない。

私は、8月12日に発表した「声明」で、現在の危機の打開のためには、米朝の直接対話が必要だと提起したが、それはいよいよ緊急で切実な課題となっている。

一、北朝鮮に対して、これ以上の軍事的な挑発を中止することを厳重に求める。米朝両国に対して、強く自制を求めるとともに、現在の危機を打開するために、直接対話に踏み出すことを重ねて呼びかける。

8月29日の国連安保理議長声明は「対話を通じた平和的で包括的な解決」を加盟国に呼びかけている。国際社会および日本政府に対して、米朝両国に直接対話をうながし、平和的・外交的な手段で核・ミサイル問題を解決するために、可能なあらゆる手だてをとることを強く要請する。

とくに日本政府が、「対話否定論」に固執する態度をあらため、「いまこそ対話に踏み切るべきだ」ということを米朝両国政府に説くことを、強く求める。

## 北朝鮮問題の平和的・外交的解決へ全力!!

北朝鮮の核実験に、満身の怒りを込めて抗議します。対話による平和的解決が、いよいよまったなしとなっています。日本政府が対話による解決の先頭になつよう、ご一緒に声をあげましょう。



衆院15区予定候補

よしだとしお

吉田としお  
日本共産党

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2017年9月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介いたします。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可